

## 「かながわ子ども虐待予防研究会」の立ち上げ

公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部看護学科

学科長・教授 北岡 英子

昨今、子ども虐待に関する事件は後を絶ちません。国も自治体も子ども虐待への対応に追われ、制度改正や関係機関の体制強化などその充実が図られてきましたが、依然として児童相談所への相談件数は年々増加の一途をたどっています。今国会では、児童虐待防止のため体罰禁止を明記した児童福祉法などの改正案成立へと動いています。しかし、子ども虐待は「取り締まる」対応だけでは限界があり、いわゆる「妊娠期から支援を必要とする養育者の早期把握と切れ目ない支援」が不可欠です。現在、この母子保健活動は保健師等看護職が中心に取り組んでいますが、支援困難事例が多く、マンパワーの限界も相まって、疲弊している状況にあると言えます。

そこで神奈川県内自治体保健師 OG が発起人となり、現役保健師も運営委員に加わり、2018年12月8日に「かながわ子ども虐待予防研究会」を立ち上げました。私も発足準備から関わらせていただいています。

会の目的は保健師等看護職を中心とした自主的な学習会を開催し、子ども虐待対応にかかわる実践力を高め、予防的支援の充実を図ることにあります。2018年9月にキックオフ講演会を行い、12月に設立総会、記念講演、そして2019年2月には事例検討に関する講演会を開催しました。それぞれ100名ほどの参加者があり、本研究会への関心の高さや期待がうかがえました。現在、会員は100余名となり、2019年度も3回ほどの講演会や学習会を企画しています。会員は「看護職」としてはいますが、今後は非会員も広く募る公開講演会開催や、会員の対象を拡大していくことなども検討していきたいと考えます。

研究会は子ども虐待予防に関する学習をする場ではありますが、知識や技術の習得だけでなく情報交換や交流を通じて、支援者として互いに励まし合い、支えの場になっている貴重な場でもあります。

2019年度第1回講演会は、6月22日（土）小林美智子先生をお迎えし、「世界から学ぶ子ども虐待予防 第2弾」を開催予定です。詳細は下記にお問い合わせください。

皆様のご参加をお待ちしております。

お問い合わせ： e-mail : [2018kodomogyakutaiyobou@gmail.com](mailto:2018kodomogyakutaiyobou@gmail.com)

